

高病原性鳥インフルエンザについて (少羽数飼育者の皆様へ)

☆高病原性鳥インフルエンザとは？

鳥インフルエンザは、A型インフルエンザウイルスが引き起こす鳥の病気です。鳥に感染するA型インフルエンザウイルスをまとめて鳥インフルエンザといいます。

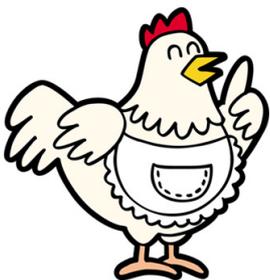
鳥インフルエンザウイルスの中には高病原性鳥インフルエンザがあり、鶏やうずらなどに対する病原性の強さによって、強毒タイプと弱毒タイプに分類されます。

鶏が強毒タイプのウイルスに感染すると、その多くが死んでしまいます。一方、鶏が弱毒タイプのウイルスに感染すると、症状が出ない場合もあれば、咳や粗い呼吸などの軽い呼吸器症状が出たり産卵率が下がったりする場合があります。

☆おもな症状

このウイルスに感染すると、次のような症状を示します。

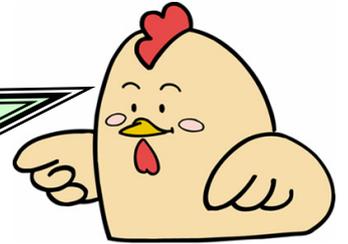
- ・突然死
- ・トサカ(鶏冠)、肉垂が紫色になる。(チアノーゼ)
- ・元気消失、下痢、食欲減退、咳
- ・産卵率の低下
- ・うづくまる、静かに眠る、ふるえる、羽毛の逆立ち など



鶏卵・鶏肉を食べることによる人への感染は世界的にも報告されていません

高病原性鳥インフルエンザの発生を防ごう

インフルエンザウイルスは
外から侵入してきます



😊 野鳥や野生動物を鳥小屋に入れない。

- ★ 野鳥等が侵入する穴や隙間をなくす。
- ★ 野鳥等が侵入できないよう、防鳥ネット・金網などで鳥小屋やケージを覆う。
 - 鳥小屋全体に、隙間なくネット・金網を張る。
 - 野鳥等が侵入できない目の大きさ（2cm）のネットを使用する。
- ★ 餌箱や水入れは小屋の中に置き、餌が小屋の周辺に散乱しないようにする。（こぼれた餌を求めて、野鳥等が集まって来る。）
- ★ また、飲水は、衛生的な水道水や井戸水を与える。
- ★ 餌は、室内やフタ付の容器に入れて保管する。

😊 鳥の飼育場所は、こまめに掃除・消毒を！！

- ★ 毎日、鳥を観察し、鳥小屋やその周辺を清潔に保つ。
- ★ 鳥小屋の出入口に踏込消毒槽やアルコールスプレーなどを設置し、入り時に履物、衣服、手を消毒する。
- ★ 世話（餌やり、掃除）をするときは、専用の履物、衣服を身につける。
- ★ 世話をした後は、手洗いやうがいをする。
- ★ 天気の良い日に行なう。



消毒方法

- 1 鳥小屋を掃除してゴミや埃などを除く。
- 2 消毒薬の使用方法をよく読み、指定の倍率に薄める。
- 3 噴霧器などを使い、鳥小屋内・周辺など全体をまんべんなく消毒する。

【消毒薬の一例】 ◎漂白剤、消石灰でも効果があります。

- ★ 家庭用漂白剤「キッチンハイター等」を100倍に薄めて使用してください。（付属のキャップ（約25ml）2杯を水5Lに溶かす。）
- ★ 消石灰は、鳥小屋周辺などに散布してください。ホームセンターなど園芸用品を扱う店で「園芸用消石灰」として販売されているものが利用できます。
- ★ 消毒薬として、薬局等で購入可能な「オスバン」「ベンザルコニウム液」など500mlの商品や「パコマ」「アストップ」など動物用の1L容器の商品がありますので、薬局等へ御相談下さい。

鳥に異常があるときや、不明なことがあれば、
最寄りの畜産事務所に御連絡ください

〈連絡先〉

西部畜産事務所・西部家畜保健衛生所（東広島市） TEL 082-423-2441

（担当地域：広島市，大竹市，廿日市市，安芸高田市，安芸郡，山県郡，呉市，竹原市，東広島市，江田島市，豊田郡）

東部畜産事務所・東部家畜保健衛生所（福山市） TEL 084-921-1311（代表）

（担当地域：三原市，尾道市，福山市，府中市，世羅郡，神石郡）

北部畜産事務所・北部家畜保健衛生所（庄原市） TEL 0824-72-2015（代表）

（担当地域：三次市，庄原市）

広島県農林水産局農水産振興部畜産課

TEL 082-513-3604